

こんにちは 日本共産党県議団です

コロナ対策を抜本的に拡充し、全額公費でのPCR検査の「社会的検査」実施を

2月県議会にむけて党県議団が知事に申し入れ

党県議団は2月15日、2月議会にむけて阿部守一知事に8項目を申し入れました。

コロナ感染対策では、PCR検査の抜本的拡充、医療機関・高齢者施設への全額公費による「社会的検査」の実施、地域医療体制への財政支援、補償と一体の時短要請、第2弾の持続化給付金、保育関係者・調剤薬局従事者への慰労金などを求め、ワクチン接種や学生へのフードバンク支援も要望しました。

また、リニア中央新幹線工場の安全性、一昨年の台風19号で被災した東御市の千曲川護岸の復旧工場の不良施行の検証、再生可能エネルギーF・パワー支援も申し入れました。

阿部知事は「介護施設で感染者がでるとクラスターになる恐れがある。陽性者のいないところでの広範な実施は専門家に消極的な意見が多い。状況を判断しつつ対処していきたい」とし、第2弾の持続化給付金については国への要望を全国知事



会として行っていく答え、協力金などではできる限り支援していきたいと回答しました。

高校生が授業で使うタブレット端末の個人負担の再検討を

小中学校のICT教育では、一人1台のタブレットを公費で購入していますが、県教委は突然、新高校1年生から個人購入で用意する方針を示しました。コロナ禍で生活環境が困難になる中、入学時の出費にさらなる負担を強いることはいかがか。教育上必要なものなら公費で措置すべきと求めると教育長は、さまざまな課題があ

り、令和3年度はスマホまたはタブレットで対応する、令和4年の入学生からタブレットが望ましいと答弁。予算のわずか0.12%で措置できると知事に公費購入を迫ると、知事は「予算編成権は私にある。県の方針を固めたい」と答弁。全国では12の県が公費で購入し、貸与しています。

治水対策は丁寧な説明と住民合意を

河川整備、雨水貯留などの流域対策、まちづくりなどに総合的に取り組む「流域治水プロジェクト」が県下7水系で進められています。ダム依存から脱する流域治水は、党県議団も求めてきたものです。

野市篠ノ井の千曲川の堤防が、地元の要望が通って被覆型に改良されることになりました。

各地に計画されている遊水地などは、住民へのていねいな説明や合意を求めてただしていきます。

一昨年の台風19号で被災した長

党県議団がコロナ対策などで県内団体と懇談

2月議会に向けて党県議団は、コロナ感染の拡大で経営困難に直面している中小商工業者、観光、医療、農業や建設関係など幅広い団体と懇談し、現状や要望をお聞きしました。



県看護協会の松本あつ子会長と懇談（1月15日）



県旅館ホテル組合の中村実彦会長と懇談（1月8日）

日本共産党県議会報告

No. 8 2021年4月【2021年2月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

